ご支援ありがとうございます！

鳥畑 純一 様
㈱未来塾 岸野一夫 様
未来塾チャリティ 様
㈱ハートインターナショナル 様
㈱北山興産 様
㈱ロジネットアドバンス 様
㈱パシ・コム
　代表取締役 渡邉ひとみ 様
MIGP チャリティ 様
㈱ライフアレンジメント office 関
　代表取締役 関秀樹 様
㈱テイスト 代表取締役 櫻庭乙慶 様
HR ソリューションズ㈱
　代表取締役 武井繁 様
㈱ウェブコミュニケーションズ
　代表取締役 髙山指月 様
㈱M・A-Logi
　代表取締役 田中満廣 様
(公社)鎌田財団 様
ネオス㈱ 様
大建ビルテクノ㈱ 様
㈲谷裕 代表取締役 谷山明美 様
絆ライブ 長井利美 様
なだれ坂音楽祭実行委員会 様
㈱三和 様
㈱葉山国際カンツリー倶楽部 様
㈱葉山産業 様
鈴木 克明 様
渡邉 由紀子 様
上田 彰 様
吉田 眞紀子 様
竹内 陽治 様
㈱suu・suu・CHAIYOO
　代表取締役 川口洋 様
田中 早知子 様
鈴木 秀世 様
金代 直人 様
久保木 一政 様
㈱ミッドランズ 様
窪田 孝子 様
地引電機工業㈱
　代表取締役社長 地引恒夫 様
服部 美亜 様
高橋 昌子 様
サカエイブキ 様
㈱スターエンタープライズ 様
㈱スタートア 様
㈱スタービル 様
㈱ほうらいやビル 様
菅井 栄子 様
額賀 真理子 様
植木 裕 様
堀場 功一郎 様
学校法人 福岡雙葉中学校・高等学校 様
那波 節子 様
㈱モガンボ 代表取締役 田中雅史 様
リーディング㈱
　代表取締役 松本朋治 様
高山 真弓 様

（順不同）

多くの皆様のご賛同、ご支援で、子供みらい基金は運営されています。

家庭に恵まれない子どもたちへ贈る「小学校最後の『夢』思い出づくり」！

今年も子どもたちに喜んでもらいたい！全国の児童養護施設で暮らす小学校６年生を、東京ディズニーランドとユニバーサル・スタジオ・ジャパンに招待。夢と笑顔を子どもたちに！

「小学校最後の思い出づくり」プロジェクトは、2016 年から続けており、2025 年度は全国 24 施設の児童養護施設の児童を招待しています。

2026年度
ご支援お申し込みは
こちらから
専用ホームサイト
https://children-future.info/funding

ご寄付のお願い

子供みらい基金の活動は皆様の善意で成り立っております。金額、時期の決まっていない「スポットでのご寄付」の他、「毎月の定額寄付」（毎月2万円、1万円、5千円、最低2千円でも受け付けております。銀行口座自動引き落とし、クレジット決済も可能です）でもお受けしております。お申し込みは下記の方法でお願いします。

お申し込み方法

❶ホームページからお申し込み　https://children-future.info/　子供みらい基金　検索

❷メールまたはお電話でお申し込み・お問い合わせ

一般社団法人
子供みらい基金　事務局

〒106-0041　東京都港区麻布台3-5-5-1203
Tel：03-6441-2781　Fax：03-6441-2789　✉ mirai@children-future.info

「手と手」 第13号

一般社団法人　子供みらい基金　機関紙

Tetote

一般社団法人
子供みらい基金
厚生労働省職業紹介許可番号　13-ユ-308586

事務局　2025年6月発行
〒106-0041 東京都港区麻布台3-5-5-1203
Tel：03-6441-2781　Fax：03-6441-2789
E-mail：mirai@children-future.info
URL：https://children-future.info
ホームページ　子供みらい基金　検索

子どもたちの「みらい」に寄り添うために

この春、子供みらい基金の奨学生２名が保育士として児童養護施設に就職しました。かつて自らが育った場所に戻り、今度は子どもたちの「支え手」として働く姿に、私たちは深い感動と希望を覚えています。

また、現在保育士を目指して学ぶ奨学生、大学で新たな道に挑戦する奨学生たちの姿も、今号でご紹介しています。皆さまのご支援が、こうした若者たちの歩みを力強く後押ししています。心より感謝申し上げます。

そして今年も、「小学校最後の思い出づくり 2026」プロジェクトが始まりました。児童養護施設で暮らす６年生たちを、東京ディズニーランドや USJ へ招待し、夢と笑顔の一日をプレゼントする取り組みです。

今年は、クラウドファンディングではなく、**すべてのご寄付を子どもたちのために使えるよう、当基金が直接ご支援をお願いするかたちで実施しています。**皆さまのご理解とご協力を、どうかよろしくお願い申し上げます。

子どもたちの「みらい」に寄り添うために。本基金は、これからも一人ひとりの成長と自立を支える活動を続けてまいります。

子供みらい基金　理事長　池田幸司

育ちの地に、いま恩返しを

みらい基金奨学生、2名が保育士として児童養護施設へ就職！

児童養護施設で育ち、「子どもたちのそばで働きたい」と願っていたみらい基金奨学生の２名が、ついに保育士資格を取得し、それぞれ児童養護施設に就職しました。
育った施設の温もりと支援を胸に、今度は支える立場として、新たな一歩を踏み出しました。

子どもにとっての“味方”でありたい　YIさん

私は、この２年間で沢山のことを学びました。学生生活では、実習や授業を通し、保育の知識が身につきました。また、改めて子どもが好きだと実感することが出来ました。

10 月に行った最後の実習では、インターネットで保育教材を探すのではなく、自分で考えたオリジナルの保育教材で責任実習を行いました。個性豊かな作品が仕上がり、子どもたちも沢山喜んでくれました。

就職活動は、10 月の実習と同時並行で行いました。無事３次試験まで合格し、11 月に内定を頂きました。「ここで頑張りたい」と思った理由は、説明会で話して頂いた、「当たり前を否定するのではなく、修正していく」という言葉でした。例えば、ネグレクトだった子は、お風呂場を指さして、「どうして湯船にゴキブリが浮いてないの?」と平気で質問してきます。その時に、「普通は浮いてないんだよ」と答えるのではなく、「お風呂場は体を綺麗にする場所だから、お風呂場も綺麗だったら気持ちいいよね」など、否定をするのではなく、その子の当たり前を修正していくということです。普段、当たり前のように『普通』という言葉を使ってしまいます。けれど『普通』は人によって違うことを改めて認識し、自分の価値観を押し付けないことを忘れずに子どもと関わりたいと思います。

４月からは学生ではなく、社会の一員ということを忘れず、子どもたちと衝突することがあっても、めげずに日々を励みたいと思います。

「おはよう」、「行ってらっしゃい」、「おかえり」、「おやすみ」など普段の会話を大切にして、自分は愛されていると子どもが思える関わりをします。子どもの性格や特性を理解し、受け止めることを自分の理念として、これから頑張ります。

先生に憧れ、先生になる　KWさん

学生生活を振り返って、僕は保育士という夢の為高校から短大卒業まで色々なことを教わり、実践してきました。初めて学ぶことが沢山あり、初めは自分にできるのかという不安を感じたりしましたが、自分の夢の為だと最後まで踏ん張りやり切ることができました。どの先生方も親身に教えて下さり、しんどい時には寄り添ってもらい沢山の部分でお世話になることがありました。その先生方の為にも、学生生活で学んできたことをしっかり活かしながら社会に出てからも色々なことを学び成長していきたいです。僕の行う仕事は、人の命を背負うと共に子ども達の将来の為にとても必要な仕事だと思います。僕は自身の仕事に責任、誇りを持ちその気持ちを忘れることのないよう心がけていきたいです。僕がそうであったように、子ども達にも憧れてもらえるそんな保育士になりたいと思います。今まで沢山の応援を下さりありがとうございます。それらの応援を無駄にしないよう精一杯頑張ります。

４大生奨学金

一歩ずつ、夢に向かって ── みらい基金奨学生、大学での学びを未来へ

多様な進路を目指し、大学で学びを重ねる奨学生たち。それぞれの夢に向かって、丁寧に歩みを進めています。

丁寧に積み重ねる力　YOさん

大学２年生の秋学期も無事に履修した全ての講義の単位を取得することができました。卒業に必要な所定の 124 単位のうち、現在までに取得した単位は 76 単位となり、比較的順調に単位を取得することができています。GPA も例年のゼミの選出基準を十分に満たしていた為、無事に第一志望のゼミに所属することが決定しました。このゼミでは、日本社会の成立について、政治や地理的条件に注目し、歴史学的な視点で多様な事象を検証します。私は、過去から現在へと続く日本社会の成り立ちを学ぶことで、より深い理解が得られるのではないかと期待しています。

サークル活動については、軽音サークルの企画の一員として、今年度の新入生歓迎ライブに向け、ライブハウスの予約や運営を仲間と進めました。他のサークルとの交流も積極的に行い、４月には合同ライブへの出演も決定しています。こうした経験を通じて、ライブイベントの企画・運営の難しさややりがいを改めて感じています。

その他、就職活動について、本格的に開始するのは３年生の秋学期以降のことが多いですが、それまでの期間を活用し、長期・短期を問わずインターンに参加したいと考えています。現在は、３年生の夏季休暇までにインターンに参加することで実務経験を積むことを目標に業界や企業を探している最中です。学業やゼミ、サークル、そして将来のキャリアに向けた準備など、やるべきことは多いですが、丁寧に取り組んでいきたいと思います。

誰かに寄り添える先生になるために　SUさん

４月からの１人暮らしに向け、無事新居が確定致しました。新居は大学から自転車で 30 分ほどの場所にあり、２年次も授業数が多い中、１年次より短い通学時間で通えることに嬉しく思っています。自立に向けて洗濯や掃除などの家事も自ら行うように意識しており、長年お世話になった施設から退所するという実感が少しずつ湧いています。退所の際にはお世話になった施設の方に感謝の気持ちを伝え、４月からの新生活を有意義なものにしていきたいと思います。

２年次からもかわらず、教員免許取得に向けて学問に励んでいきたいと思っております。２年次は座学だけでなく、介護施設と特別支援学級の実習が行われます。私は教員になるという夢に対して、生徒に理科の楽しさを伝えたいという思いで占めていました。しかし、教員になると様々な個性をもつ生徒と関わるのは当然のもと、中学教員になった場合、特別支援学級などで障害をもつ生徒と関わる機会が多くなることが考えられます。このような背景を踏まえてこの実習では主に障害をもつ方との関わり方を学ぶことが目的としています。１年次にすでに教育におけるニーズについて学習しており、今後行われる教育実習の前にそのような方と関わる機会が設けられています。障害も人それぞれの個性であり、様々な個性をもつ生徒と柔軟に対応する力を身につけるという目標のもと、実習に挑んでいきたいと思います。また、実習と並行して本来の学部の学問もおろそかにならないよう両立していきたいと思います。

SWさん

現在、大学１年が終わり、次から２年生になります。後期に入ってから授業のレベルが上がり、理解するのが大変だったこともありました。２年次からはさらに専門的な内容が増え、難易度も上がりますが、学科の友人たちと協力しながら、より一層努力していきたいと思います。

サークル活動では、仲間との仲も深まり、積極的に活動しています。音楽に力を入れて取り組めるのは大学生のうちだけだと思うので、勉強に支障が出ない範囲で、この環境を大切にし、全力で楽しもうと思っています。

将来の夢は変わらず数学の教員です。しかし、教育について学んでいく中で、教員の労働環境に関する問題が多く見えてきて、教員になることを迷った時期もありました。そんな中、高校時代の部活動の顧問と話す機会があり、相談しました。すると、過労などの問題は主に小中学校に多く、高校ではあまり問題にならないことを聞きました。そのため、もともと高校の教員になりたいと思っていたこともあり、改めて教員を目指す決心がつきました。

また、その際に大学院に進学する選択肢があることも教えてもらいました。これまで、大学院進学については考えていなかったのですが、どんなことが学べるのか、進学することでどんな違いが生まれるのか、金銭的な問題も含めて調べ、大学院進学を視野に入れたうえで大学生活を送ろうと思っています。これからもどうぞよろしくお願いします。

AIさん

私は、２月に領域別の実習を終え、現在は春休みを過ごしています。２月の前には 11 月も実習がありました。11 月は周産期の実習、２月は子どもと家族を対象にした実習でした。出産の場面に立ち会うことができたり、生まれたばかりの子どもや褥婦さん、保育園の子どもたちとの関わりができたりと、非常に充実した時間でした。

３年生の実習全体では各ライフステージの方々と関わることができました。実習を通して、どの領域においても、患者さんがそれぞれの方法で健康上の課題や不安に対処しようとする力があることを沢山学びました。実際には、患者さんの反応が理解しづらいこともありました。特に、精神科では患者さんが、課題や不安に対処しようとする行動の方向性が独特だと感じました。しかし、本人なりの意味を持つ行動として反応を捉えることができた時、その人への理解が深まりました。看護師になってからも、患者さんの声を沢山聴き、本人が持つ力に気づくことを大事にしたいと思いました。

４月からはついに４年生になります。就職試験も始まるため、準備をしています。その中で、私は精神看護に興味があると気づきました。けれど他の領域の看護や保健師の仕事にも興味があります。そのため精神看護をしながら広く他のことも学べる総合病院で働きたいと考えています。総合病院では診療科の希望が通るとは限らないのですが、他の科に行くことになっても楽しみな気持ちがあります。４年生では、看護の統合実習と保健師の実習があるため、実習も頑張ります。これからも学びを深めたいです。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

KIさん

現在、私は早朝５時に起床し、まずロードバイクで 30 キロのトレーニングを行って汗を流している。その後、高度技術者資格取得に向けた勉強に日々取り組むという、非常に充実した毎日を送っている。また、情報セキュリティの人材育成を目的とした小規模なイベントにも参加している。たそこでは仮想空間（サンドボックス）内でウイルスコードを用いて攻撃を仕掛ける攻撃チームと、それを防御するチームが総得点を競い合う実践的な訓練が毎日のように行われている。私は特に攻撃者側のマインドになりきり、短時間でシステムの脆弱性を見つけ出して攻撃するなど、本番さながらの環境下で奮闘している。

将来的な展望については２つのプランを持っている。一つ目は、自身が培ってきた唯一無二の技術力を活かし、セキュリティ分野で起業することである。もう一つは海外で職を得て、優秀なセキュリティエンジニアとして世界を舞台に活躍することである。

一方、大学の卒業論文は、技術職の影響を強く受けて、「ソーシャルメディアにおける人々の心理操作とアメリカ政治」というテーマを選択し、現在執筆中である。ただ、資格取得やイベント参加など、技術面に力を入れすぎた結果、大学の勉学がやや疎かになっており、このままでは単位を落としてしまう可能性がある。無事に卒業を果たすためにも、勉学にも鋭意努力して取り組んでいく次第だ。

現在の生活と将来への展望　AJさん

日々学業やアルバイト、地域イベント活動に取り組みながら、将来に向けた準備を進めています。これまでの生活で積み重ねてきた経験や学びを、今後の自分の成長に活かしていきたいと考えています。２年生の後期に、地域イベントのリーダーを務める機会を得ました。チームをまとめ、無事にイベントを成功に導くことができました。この経験を通じて、リーダーシップの重要性や、チームワークを発揮する大切さを学びました。特に、メンバーと円滑にコミュニケーションを取ることで、役割分担や進行がスムーズに進み、イベントを成功させることができたことに達成感を感じました。この経験は、今後の生活や仕事においても大いに活かせるものだと実感しています。学業においては、２年生の終わりに 88 単位を取得しました。勉強のペースを保ちながら、将来の就職活動に向けて必要な知識を身につけています。大学では専門的な知識だけでなく、問題解決力や思考力を養うことができました。これらの学びは、社会に出てからも活かせるスキルだと思います。また、アルバイトでは積極的にシフトに入ることで、毎月５万円程度を貯金することができました。春休みや冬休みの期間中には、計画的にお金を管理し、将来に向けた貯金を進めています。この経験を通じて、金銭管理や時間の使い方を学び、働くことの意義を改めて実感しました。お金の大切さを理解することは、社会人としても大きな強みになると感じています。現在、私は就職活動に向けてインターンシップに応募し、積極的に準備を進めています。将来は自分が成長できる職場で働き、社会に貢献できるような仕事をしたいと考えています。そのために、今後もさまざまな経験を通じて、自分のスキルや知識を深めていきたいと思っています。特に、人と関わる仕事に興味があり、これからも人間関係やコミュニケーション力を高めることを意識して活動していきます。これからも、日々の努力を積み重ね、成長を続けていきたいと考えています。将来に向けて自分の強みを発揮できるよう、今後も一つ一つの経験を大切にし、より多くのことを学びながら前進していきたいと思います。

他にも奨学生からたくさんの便りが寄せられております。ホームページからご覧ください。